

経営比較分析表

大分県 由布市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	4.07	100.00

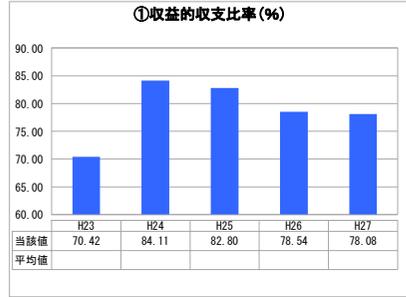
1か月20m³当たり家賃料金(円) 3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,349	319.32	110.70
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,435	0.55	2,609.09

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成27年度全国平均

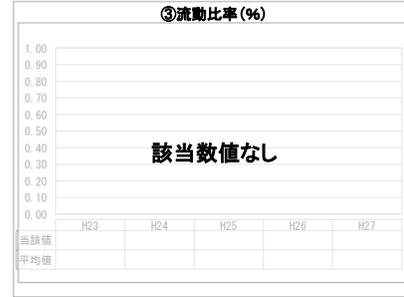
1. 経営の健全性・効率性



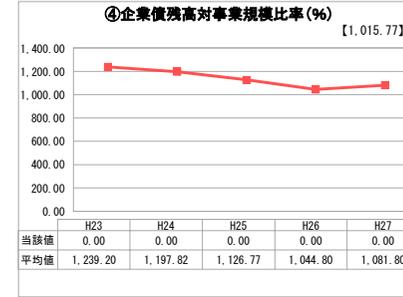
「単年度の収支」



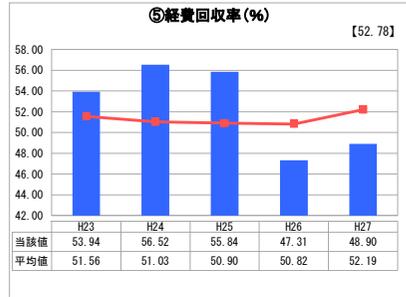
「累積欠損」



「支払能力」



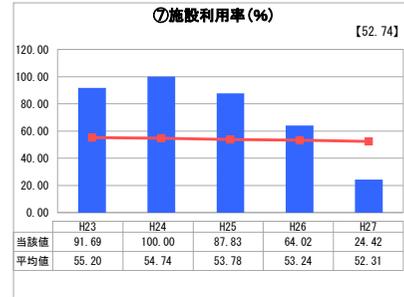
「債務残高」



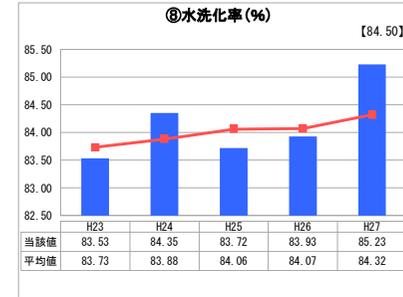
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

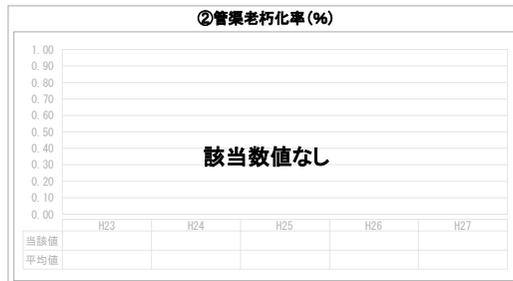


「使用料対象の捕捉」

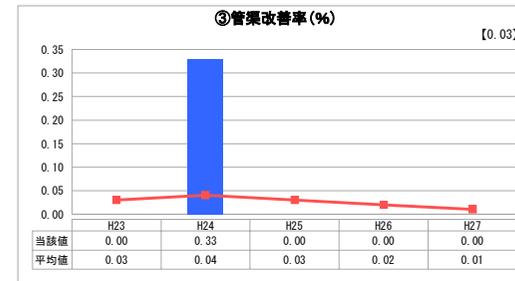
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率
ここ数年、収支比率が僅かながらではあるが右肩下がりとなっており、収支の改善に向け使用料の収納率向上や費用削減を行い、経営改善を図る必要がある。
- 経費回収率
類似団体の回収率を下回る状況にあり、使用料収入の大幅な増加を見込めない中で、汚水処理に係る費用の削減が必要である。
- 汚水処理原価
全国平均を下回るものの、今後は汚水処理費を削減するための取組が必要である。
- 施設利用率
ここ数年急激に利用率の低下が進んでいるため、晴天時の一日平均処理水量について、計測方法や機器についての精査が必要である。
- 水洗化率
類似団体と同程度の水洗化率で推移しているが、東長宝処理区についてより一層の接続推進を図り水洗化率の向上を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

- 管渠改善率
改善率が0%の状況が続いており、設置後25年を経過した管渠がある状況であり、長寿命化計画と合わせて管渠の更新を図る必要がある。

全体総括

今後は老朽化する施設の修繕や更新にかかる費用が増大していくことが予想されるため、使用料の収納率向上や料金の見直しを行うことで、経営の健全性・効率性の向上に取組むとともに、今後の農業集落排水事業の方向性についても検討する必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。